

# 大崎ひまわり訪問看護ステーション 蝦名 貴大

**功 績** キラキラ介護賞、理事長賞12か月連続受賞の根幹を支えた『キラキラ介護委員会』立ち上げと運営を誰よりも率先して行い、ひまわり全体の介護の質向上に寄与した功績。

**推 薦 者** 阿部 朗

**推 薦 理 由** キラキラ介護賞をひまわり在宅サポートグループの文化として定着させるとともに、職員の一体感醸成に貢献、また利用者さんに対してもキラキラ介護賞の存在を知らしめ、協力体制を構築した成果を推薦理由とさせていただきます。

## 内 容

今年度からキラキラ介護賞を組織的に作成し、ひまわりの財産にしていくことを目的に、委員会活動の中にキラキラ介護委員会を創設し、蝦名はその初代委員長に就任しました。

キラキラ介護賞はひまわりの9つの事業所でそれぞれ作成するため、発表資料のクオリティにばらつきが散見されており、作成責任者が不明瞭であるなどの課題を抱えていました。そこで蝦名は各事業所からキラキラ委員会の委員を選出し、キラキラ介護賞の意義や作成方法などを周知し、委員会をまとめ上げ、ひまわり全体でいつでも過去の資料や動画が見れるようクラウドにとりまとめた他、キラキラ介護賞をひまわりの職員と利用者さんとの共同作業であると捉え、ご協力いただいた利用者さん、ご家族への感謝品贈呈を推進するなど、キラキラ介護賞をグループ全体の取り組みとして定着させました。

キラキラ委員会を中心に、各事業所で職員がキラキラ介護賞を受賞することを目標に、自主的に役割分担を行い、文章の構成や動画の作成手法などを共有しはじめ、楽しく業務の一環として取り組む様子が見受けられるようになりました。これは蝦名が推進してきたキラキラ介護委員会の効果が非常に大きいと考えられます。

令和元年8月頃には連続受賞が6か月を超え、各委員モチベーションが高まり、キラキラ介護賞の受賞を事業所、そして委員、しいてはご家族も含めて皆で喜ぶ文化が定着していきました。そしてついに令和2年1月度にキラキラ介護賞を受賞したことにより、12か月連続でキラキラ介護賞および理事長賞を頂戴するに至りました。これは職員一人一人が利用者さんに対して真摯に取り組んだ結果であるとともに、グループとしての一体感を醸成することに大きくつながる結果でした。この取り組み、結果を先導した蝦名を理事長賞として推薦いたします。

H31.2 佐藤美智代 (理事長賞)

H31.3 ひまわりデイ

H31.4 阿佐野佳奈 (理事長賞)

R01.5 石巻ひまわり訪問看護ステーション

R01.6 仙台ひまわり訪問看護ステーション

R01.7 ナースインホームひまわり

R01.8 高橋リヤネット (理事長賞)

R01.9 石巻ひまわり訪問看護ステーション

R01.10 大崎ひまわり訪問看護ステーション

R01.11 高橋旭 (理事長賞)

R01.12 中央包括支援センター

R02.1 石巻ひまわり訪問看護ステーション